

- ③ この高台は、茶褐色の④層にうすく白っぽい⑥がつもり、更に、茶色の③層が水平につもってできていることを理解する。
- ④ また、白っぽい⑥層を追ってみると、地層は横に広がりをもっていることも理解できる。
- (3) 地層に近づいて観察する。
- ④層は茶褐色のローム層で、下部には1～3cm大の角ばった火山レキを含む部分も見られ、少し離れるとローム層内の葉理が観察されます。
- ⑥層は白っぽい50cm程のうすい地層で、浮石を含む凝灰岩層です。
- ④、⑥層は洪積世の火山砕せつ物からなる地層です。その後の地殻変動で、地層は斜めに傾いています。
- ③層は那須火山系の火山灰で西風に運ばれ④、⑥層の上に水平につもっています。

## 2、川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所  
隈戸川の鶯橋
- (2) 川が見通せる所から、川原の様子や水の流れを観察する。
- ① 自動車に注意しながら、橋の上から川の全景をスケッチする。
- ② 川原や、川床に残された岩盤や、がけのけずられている様子など、気付いたことを書き入れる。
- ③ 川原は、流れが大きく曲がっている内側にできているか、外側にできているか。
- ④ 川の岸が流れでけずられがけとなっているが、それは流れが大きく曲がる内側の岸か、外側の岸か。

